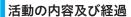
考える力とパブリックスピーキング力を育成するキャリア教育カリキュラムに関する研究

岡山県立笠岡高等学校

活動の目的

- ・地域課題について考えることを通して社会的課題に関する知識・理解を深め、社会参画力を身につける。日頃の学びがどのように社会で活かされているかを知ることで、主体的に学ぶ力を身につける。さらに、課題に対する提言に向けた探究活動やポスターセッションを通じて思考力・判断力・表現力を養い、校外の協力者や班のメンバーと協働することでコミュニケーション能力を培う。
- ・学区内の中学生を招待しての実験・実習の体験授業を実施し、生徒自らが 解説・実験補助を行うことで、効果的な表現力、コミュニケーション能力 を培う。



1 地域学

「環境」「防災」「文化財」「地域活性化」「財政」「都市計画」「農政水産」 「健康推進」の8つの探究テーマについてグループに分かれ、課題を発見し解 決策を模索していった。

- (1) 笠岡市長講演会 [10月12日(木)]
- (2) プレゼンテーション講習会 [10月26日 (木)] ポスターセッションをするために必要な調査活動の手法について学んだ。
- (3) 笠岡市役所職員からの講話 [11月1日(水)] 笠岡市の現状や抱えている諸問題について具体的な説明と、調査活動 の指針の提示があった。
- (4) 探究課題の設定 探究課題や調査事項の絞り込みを踏まえ、グループごとに探究課題を 決定した。
- (5) 校外活動 [12月22日(金) あるいは12月25日(月)] グループごとに現地に赴き視察をしたり、調査の際に参考となる様々 な体験をした。
- (6) 中間発表 [1月11日 (木)]

し、調査を進めた。

各グループが調査内容をレジュメにまとめ、テーマ設定の理由や問題 点、調査によって明らかになったこと、課題解決のために提案したい ことなどを発表した。

- (7) ポスターセッション講習会 [1月12日(金)] ポスターセッション発表に向け、必要な資料のまとめ方や発表の手法、 質疑応答の仕方について学んだ。
- (8) 追加調査 [1月18日 (木)] 中間発表を受けて追加調査を行い、改善すべき点や不足している部分 を洗い出し、問題点をどのように修正し、内容を深めていくかを検討
- (9) ポスター作成 [2月15日 (木)] 半年をかけて探究活動に取り組んできた成果をポスターにまとめた。
- (10) 発表原稿作成 [3月2日(金)] 訴えたいことを中心に据え、探究過程で得た副次的な成果物をどこで 伝えるかなど、構成を考えながら原稿を作成した。



(11) 発表会[3月20日(火)]

半年にわたる探究活動の成果をポスターセッションの形態で発表した。 7分間の発表と2分間の質疑応答を8回行った。生徒は緊張した面持ち で発表していたが、質疑応答も活発になされ、達成感のある充実した 発表会となった。

2 千鳥ラボ

(1) 校内千鳥ラボ [10月20日 (金)]

「直感でわかる眼球モデルづくり~見える不思議を体験しよう!~」をテーマに校内の希望者を対象に教科書で学んだことの発展的な内容についての実験・実習を行った。

(2) 中学生対象「公開千鳥ラボ」[11月18日(土)] 校内千鳥ラボ参加者の中から、器具やプレゼンを使った説明・実験の 補助を行う有志スタッフを募集した。生徒は、学んだ知識・技能を活 かして自らの考えを導き出し、それを伝えることで中学生に楽しんで 学んでもらうことができた。

活動の成果・効果

「地域学」の活動では、半年の取り組みの中でたくさんの失敗もあり、試行錯誤を繰り返しながらチームメンバーと協力し、ポスター発表をやり遂げた。また、「千鳥ラボ」では、自分の中で理解していることを他人に分かりやすく説明するために練習を繰り返しスタッフを務めた。これらの機会は、伝えるための思考整理のスキルや、自分の考えを効果的に表現する力を身につけるための貴重な経験となった。

今後の課題と問題点

今年度新規取り組みとして行った「地域学」については、生徒の情報活用力を向上させるにあたり十分な研修・演習時間を確保することができなかった。また、特定の活動だけで生徒の力を育成するのではなく、継続的・教科横断的に学べる仕組み作りが必要である。

●代表者:鳥越信行 ●所在地:笠岡市笠岡

●TEL: 0865-62-5128 ●E-MAIL: kasaoka@pref.okayama.jp

URL: http://www.kasaoka.okayama-c.ed.jp/

●設立年:1902年 ●メンバー数:580名